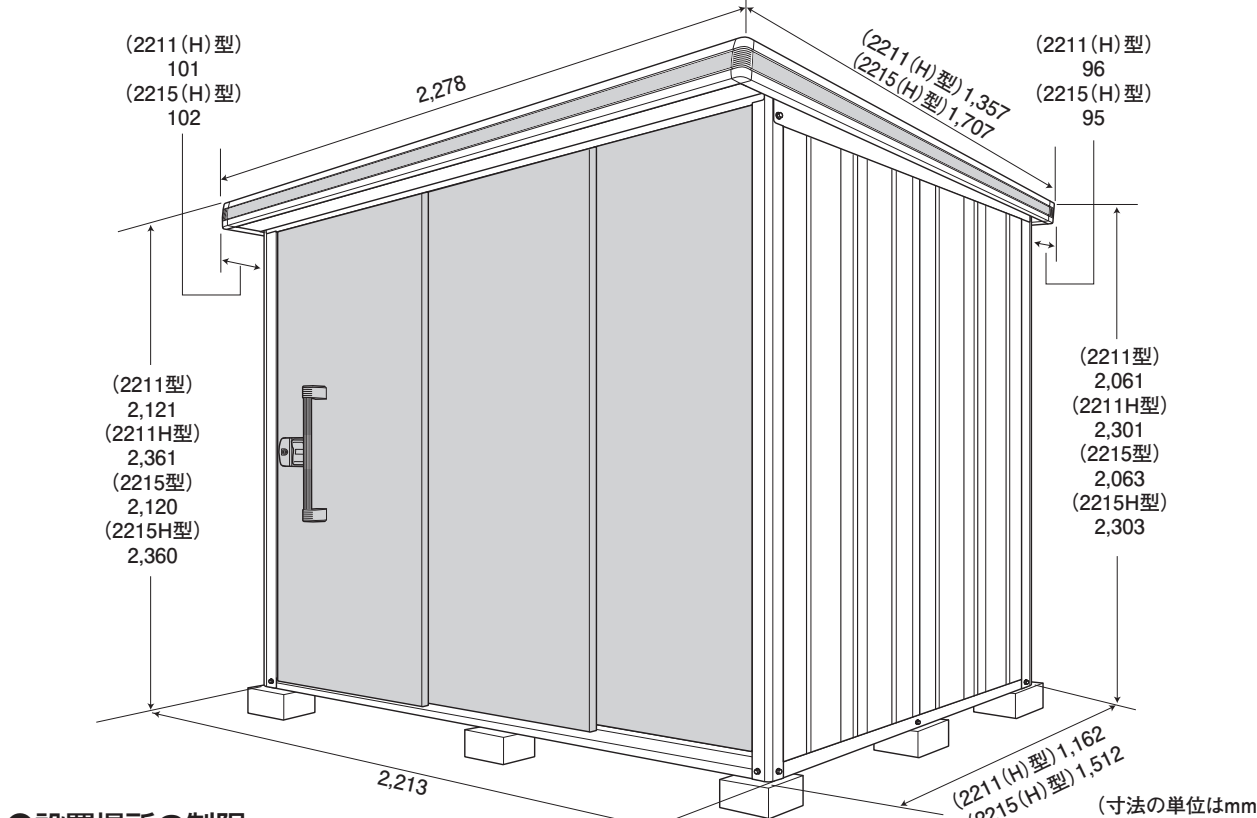


ヨド物置 エルモ

組立説明書 LMD-2211型・2211H型・2215型・2215H型

このたびは「ヨド物置」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。

※この組立説明書は「2215」の組立手順を基本に説明しています。



●設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- バルコニー等の避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 崖のふち・風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

●組立施工の際には

△注意

- アンカー工事等の転倒防止工事を必ず行ってください。
- 組立の際には手袋を着用してください。
- 梱包・組立部材で重量物は運搬、据付の際に複数人数で行ってください。
- 組立部材には長尺で重い物もありますので振り回したり落としたりしないように注意してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業を避けてください。
- 高い足場が必要な時は、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の締め忘れやゆるみがないか確認してください。

●梱包組み合わせ表

部 品	2211 型	2215 型	2211H 型	2215H 型
上枠前後(一般・積雪共用型)	LM5-0142	LM5-0142	LM5-0142	LM5-0142
上枠前後(豪雪型)	LM5-0205	LM5-0205	LM5-0205	LM5-0205
上枠左右	LM5-0209	LM5-0209	LM5-0209	LM5-0209
下枠左右	LM5-0255	LM5-0255	LM5-0255	LM5-0255
下枠左右	LM5-0302	LM5-0302	LM5-0302	LM5-0302
下枠左右	LM5-0352	LM5-0352	LM5-0352	LM5-0352
柱	LM5-0411	LM5-0411	LM5-0412	LM5-0412
間柱	LM5-1467	LM5-1468	LM5-1471	LM5-1472
扉	LM5-1105	LM5-1105	LM5-1105	LM5-1105
扉	LM5-0931	LM5-0931	LM5-0931	LM5-0931
扉	LM5-3531	LM5-3531	LM5-3531	LM5-3531
扉	LM5-0531	LM5-0531	LM5-0531	LM5-0531
床	LM5-0708	LM5-0715	LM5-0708	LM5-0715
屋根	LM5-0913	LM5-0924	LM5-0913	LM5-0924
屋根	LM5-1001	LM5-1003	LM5-1011	LM5-1013
壁	LM5-1004	LM5-1004	LM5-1014	LM5-1014
壁	LM5-1022	LM5-1022	LM5-1032	LM5-1032
袖壁	LM5-1055	LM5-1055	LM5-1065	LM5-1065
袖壁	LM5-1705	LM5-1705	LM5-1715	LM5-1715
袖壁	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903	LM5-1903
合計	17	16	17	16
	積雪型	17	16	16
	豪雪型	17	16	16

●梱包内容表

●部品	2211 型	2215 型	2211H 型	2215H 型
ELD 間柱固定金具	2	2	2	2
ボルト(スプリングワッシャー付) M6×15	5 (1)	5 (1)	5 (1)	5 (1)
ELD 柱補強金具 (AS)	1	1	1	1
ELD ドレールキャップ	1	1	1	1
T型レンチ	1	1	1	1
ELD アンカープレート (L)	4	4	4	4
ELD 屋根隅隅差し A	2	2	2	2
ELD 屋根隅隅差し B	1	1	1	1
EL 鍵スリッパ	1	1	1	1
ボルト M 6×15 (白) ※ 153 (5)	1	1	1	1
組立説明書	1	1	1	1
取扱説明書	1	1	1	1
保証書 5 年	1	1	1	1
※本体色が黒の場合、ボルトは黒×15 (黒) 116 (3) (白) 37 (2)				
●上枠前後	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
LM5-0205	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 上枠前 AS-A3.0	1	1	1	1
ELD 上枠後 AS-A3.0	1	1	1	1
LM5-0209	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 上枠前 AS-A3.0	1	1	1	1
ELD 上枠後 AS-A3.0	1	1	1	1
●下枠前後	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
LM5-0255	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 下枠前 AS-A3.0	1	1	1	1
ELD 下枠後 AS-A3.0	1	1	1	1
ELD 床押え AS-A3.0	2	2	2	2
●上枠左右	2211 (H) 型	2211 (H) 型	2211 (H) 型	2211 (H) 型
LM 5-0302	2211 (H) 型	2211 (H) 型	2211 (H) 型	2211 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 上枠左 A1.5	1	1	1	1
ELD 上枠右 A1.5	1	1	1	1
LM 5-0303	2215 (H) 型	2215 (H) 型	2215 (H) 型	2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 上枠左 A2.0	1	1	1	1
ELD 上枠右 A2.0	1	1	1	1
●下枠左右	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
LM 5-0302	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 下枠左 A1.5	1	1	1	1
ELD 下枠右 A1.5	1	1	1	1
●床	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
LM 5-0708	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 床板 A1.5	6	6	6	6
●屋根	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
LM 5-0715	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型	2211 (H) 型・2215 (H) 型
部材名	数量	数量	数量	数量
ELD 屋根 A2.0	1	1	1	1
ELD 屋根 A2.0	6	6	6	6

○部材名称にはA1.5、A2.0等の長さを示す記号がついた部材がありますが、説明書文中では省略してあります。

○梱包番号の右側の数字は使用機種を示しています。

鍵は、扉の裏面に貼り付けてあります。

●施工にあたって

- 1.まず御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔の空いている部材がありますので、説明書に従って組立ててください。
- 3.部材は、全て鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
※安全のため必ず手袋を着用してください。
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立ては、ボルトの孔に合わせて組立ててください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

●基礎工事に必要なもの(市販品をご準備ください。)

- ・コンクリートブロック 9ヶ(幅19cm×長さ19cm×厚さ10cmが適当です。)
- ・コンクリート(サイズは下図の穴サイズをご参照ください。)*土の上に設置する場合に必要です。
- ・芯棒打ち込み式アンカー(M12×70以上) 4本*コンクリート床の上に設置する場合に必要です。

●組立てに必要なもの(事前にご準備ください。)

- ・軍手 ・水準器 ・脚立 ・+ドライバー(右側開口にする場合のみ必要)

●使用ビス一覧



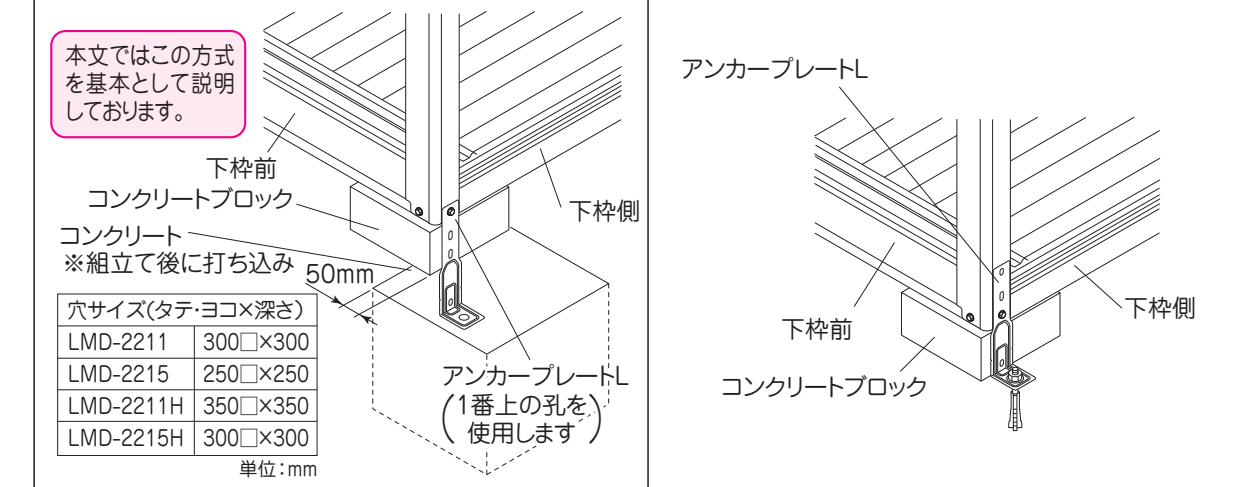
※固定先の部材と同じ色のボルトを使用してください。

●アンカー工事について

アンカー工事は設置場所によって下図のような方法があります。強風による転倒防止のため、必ず行ってください。

《土の上に設置する場合》

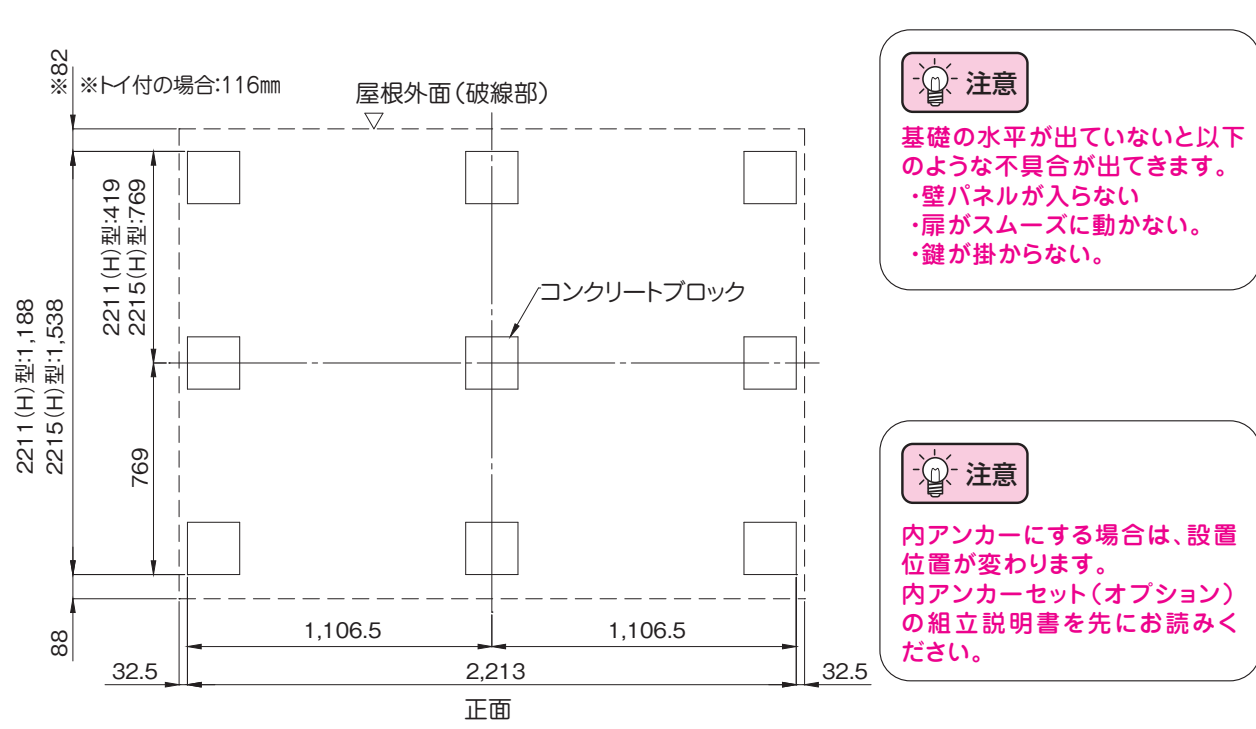
4隅に穴を掘り(下図参照)、施工後にコンクリートを流し込んでアンカープレート(L)を固定します。



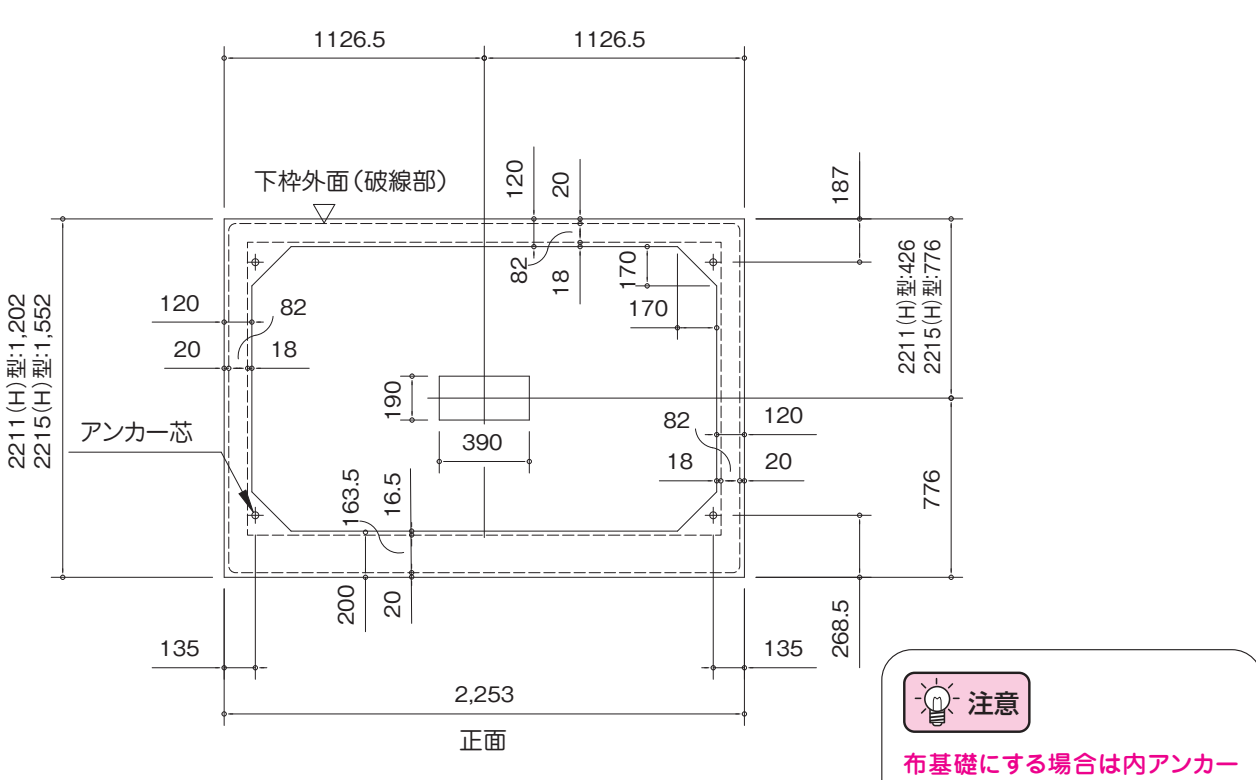
△注意 強風地、寒冷地等に設置する場合、現地の実情(基準風速・凍上による不陸など)にあわせて設計・施工してください。

1 基礎施工

- ①設置場所の地ならし、地固めを行います。
- ②水準器を使って水平になるようにコンクリートブロックを図の寸法に並べます。(数字の単位はmm)



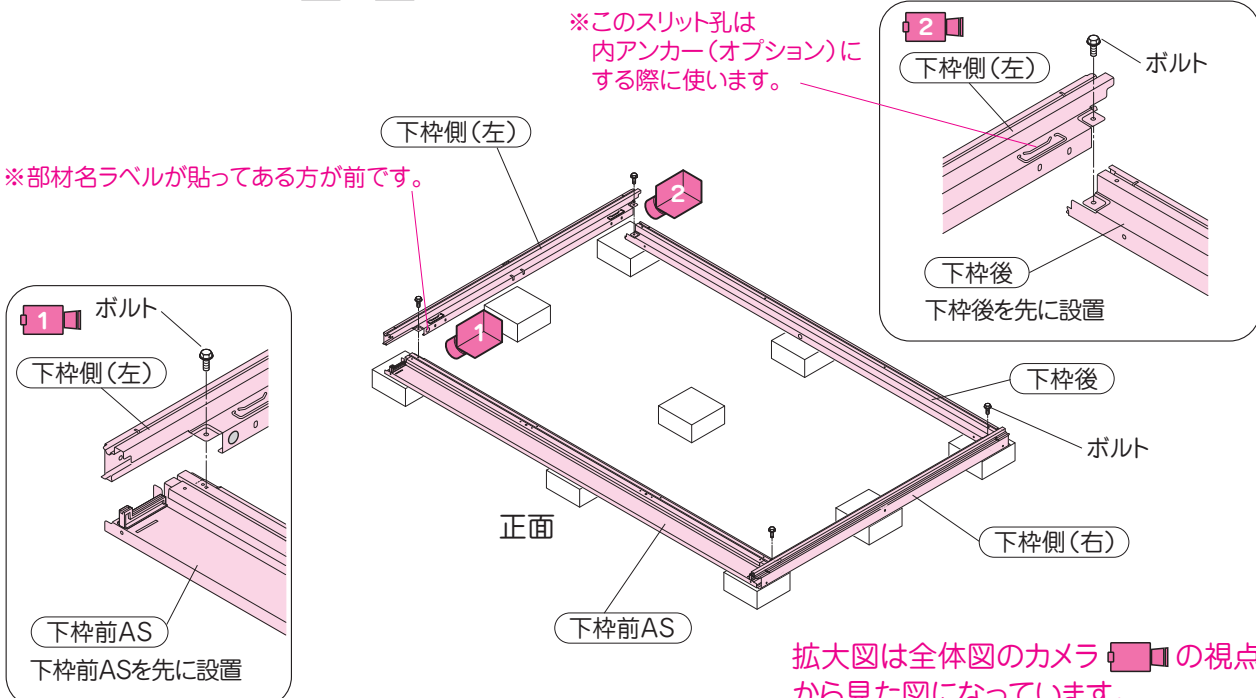
《布基礎の場合》(詳細図面は当社ホームページのデータダウンロードコーナーより入手ください。)



△注意 布基礎にする場合は内アンカーセット(オプション 梱包番号: LM5-6741)が別途必要です。

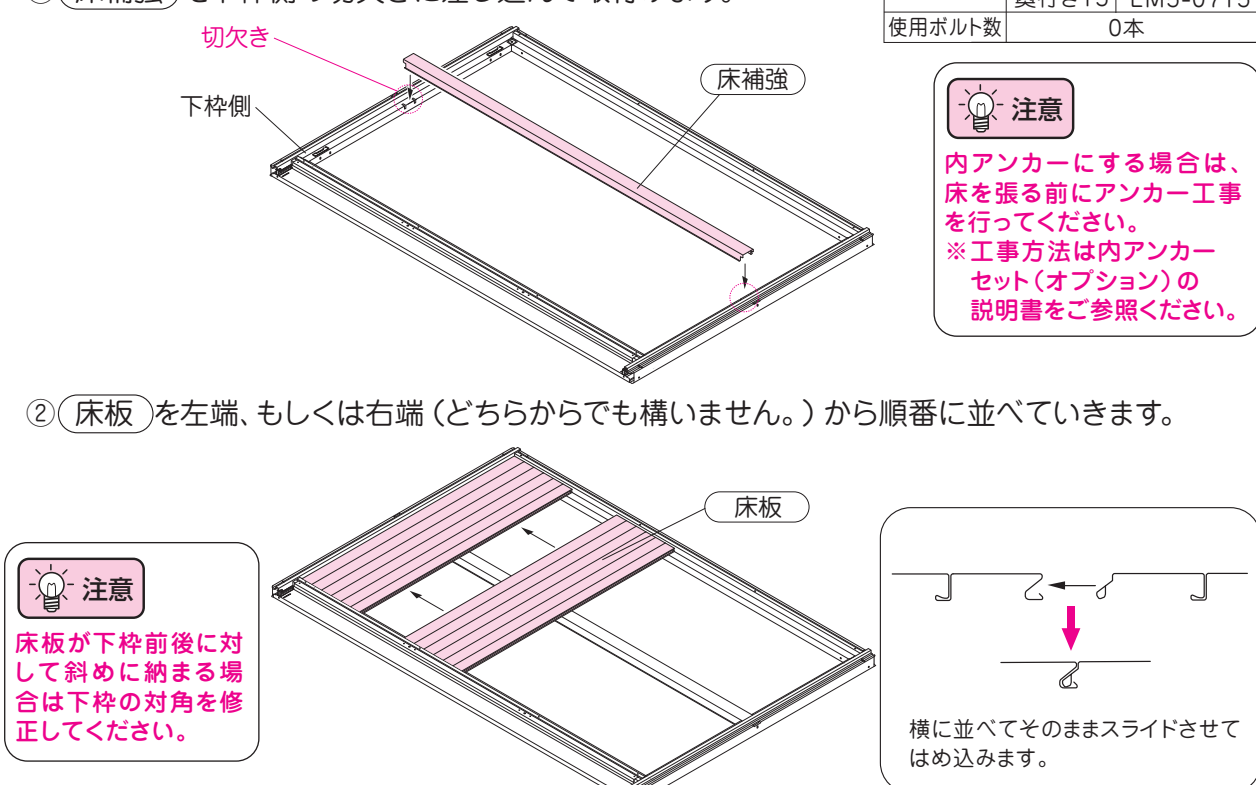
2 下枠の組立

- ①(下枠前AS)・(下枠後)をコンクリートブロックの上に設置します。
- ②(下枠側)を(下枠前AS)・(下枠後)の上から設置して4隅をボルト止めします。



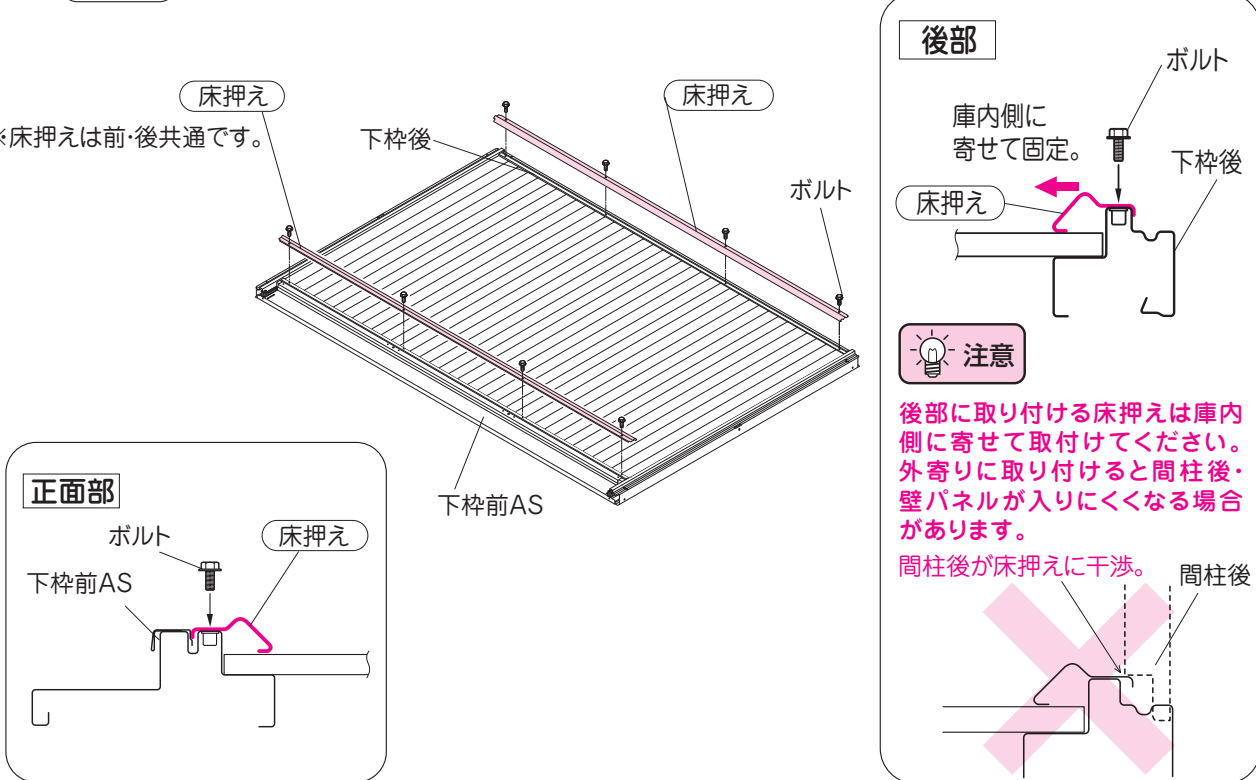
3 床の設置

- ①(床補強)を下枠側の切欠きに差し込んで取付けます。



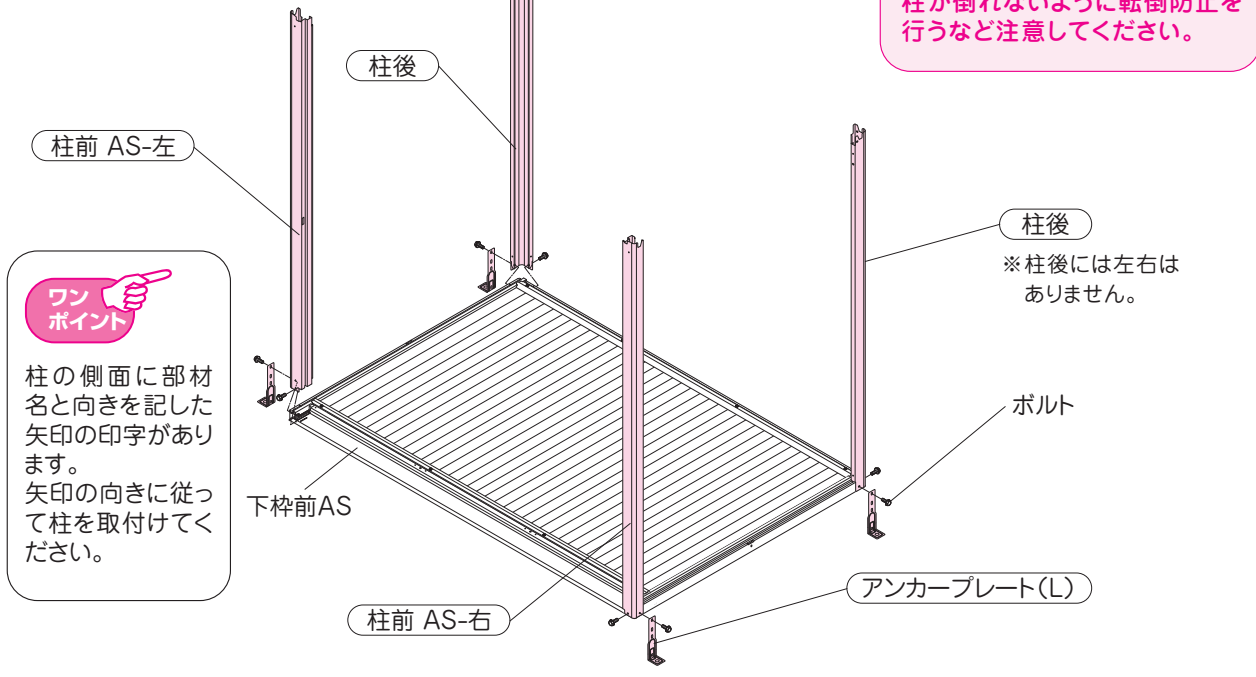
4 床押えの取付け

- ①(床押え)を下枠前AS・下枠後に取付けます。



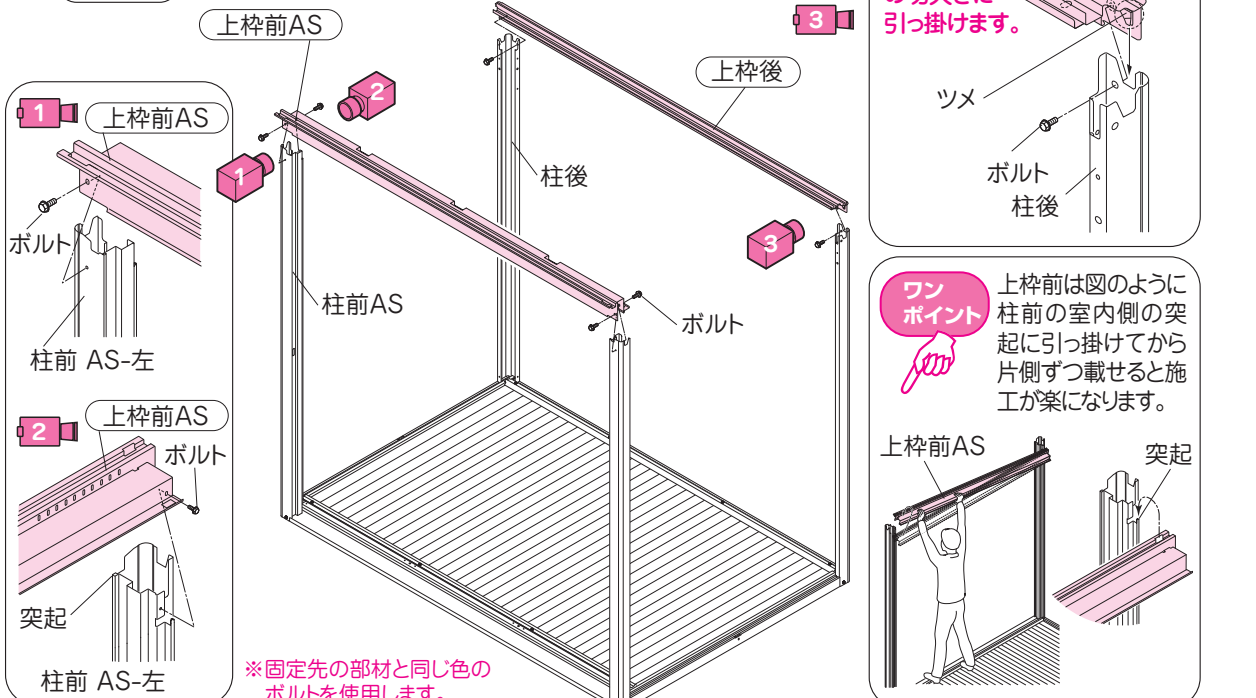
5 柱の取付け

- ①(柱前AS)・(柱後)を下枠の4隅の切欠き孔に差し込んでボルト止めします。



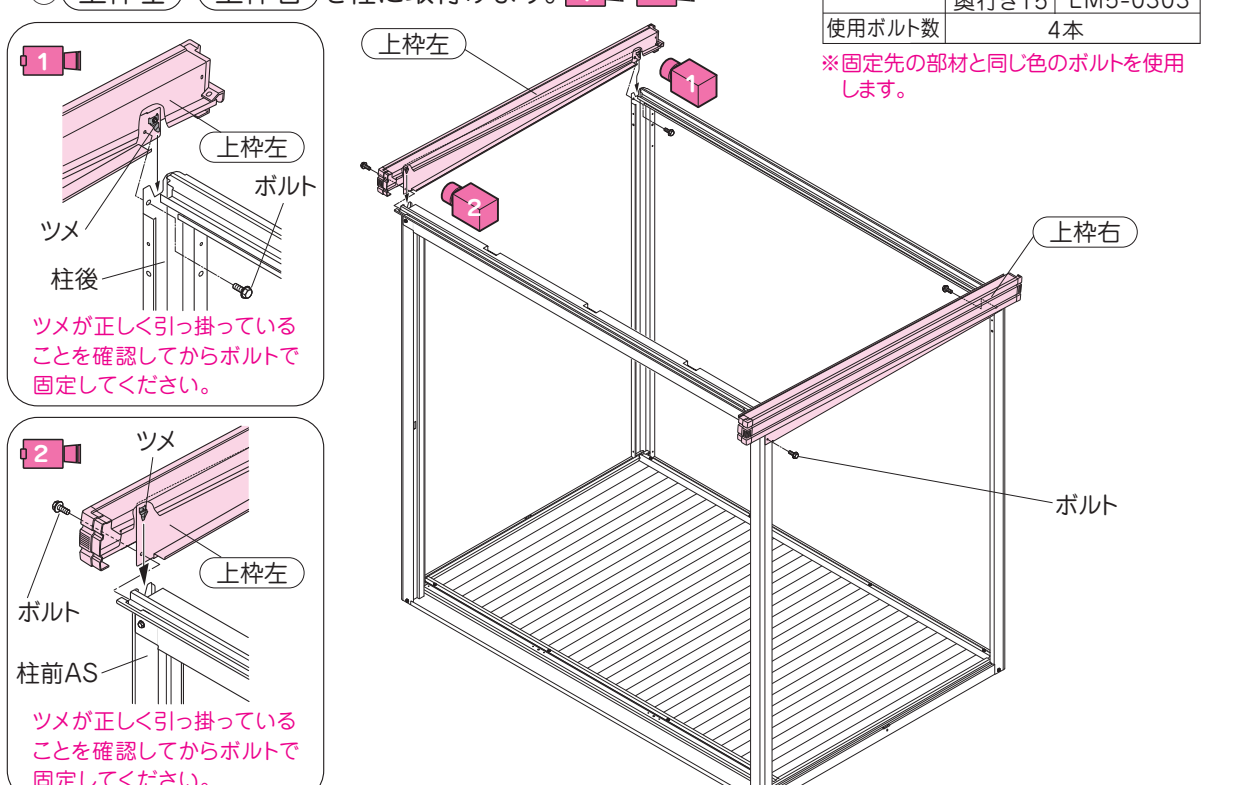
6 上枠前後の取付け

- ①(上枠前AS)を柱前ASの突起に差し込んでボルト止めします。
- ②(上枠後)のツメを柱後の切欠き部に引っ掛けてボルト止めします。



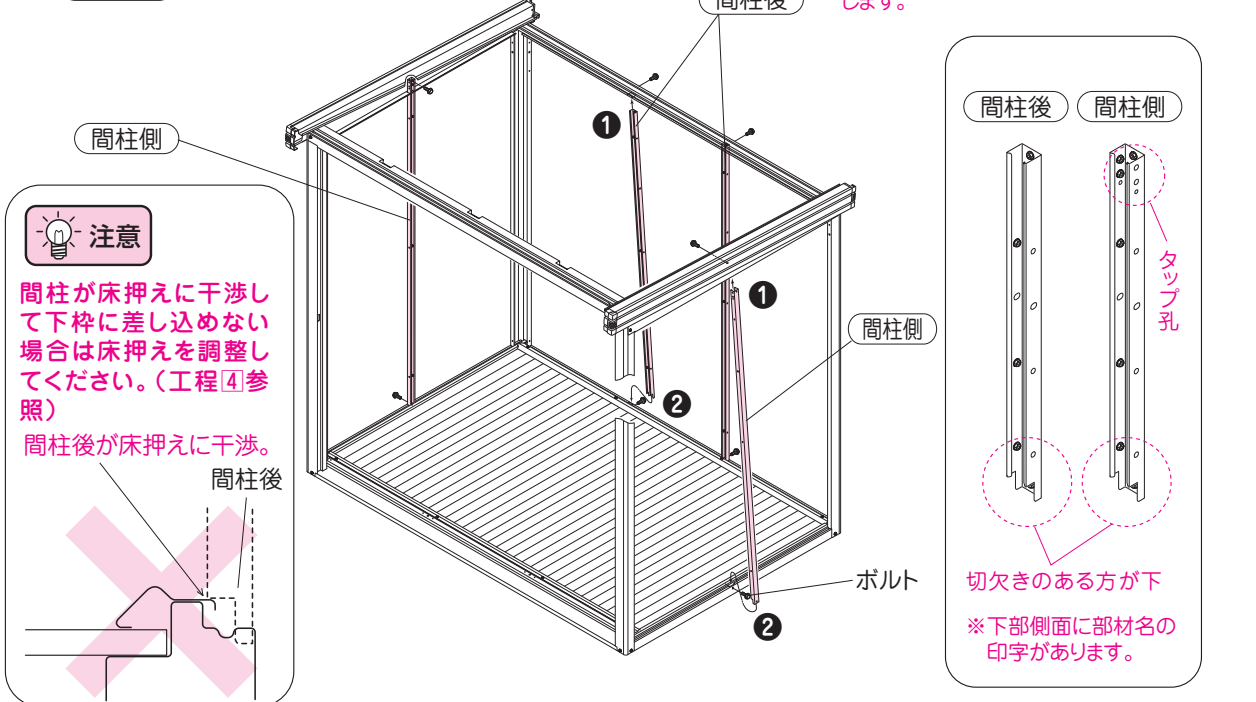
7 上枠左右の取付け

- ①(上枠左)・(上枠右)を柱に取付けます。



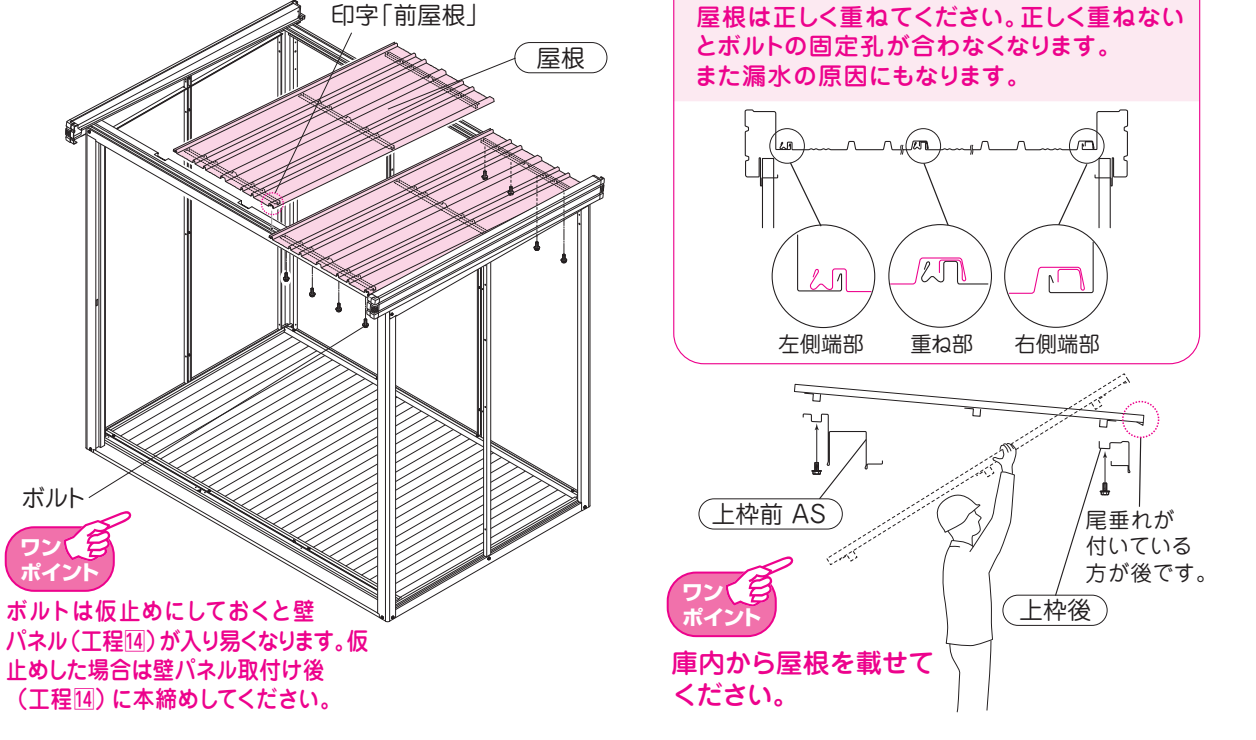
8 間柱側・後の取付け

- ①(間柱後)の上端を上枠後に差し込み次に下端を下枠に差し込んでボルト止めします。
- ②(間柱側)も同様にして取付けます。



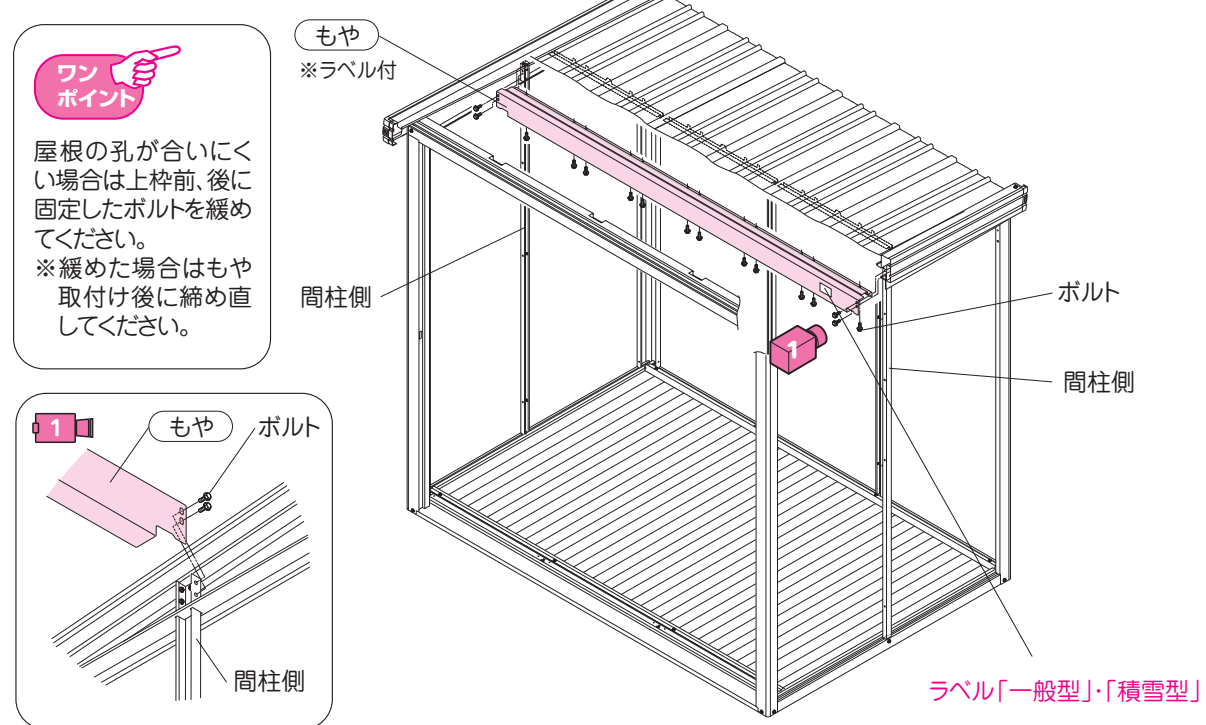
9 屋根の取付け

- ①(屋根)を右端から順番に載せて上枠前・上枠後とボルト止めします。



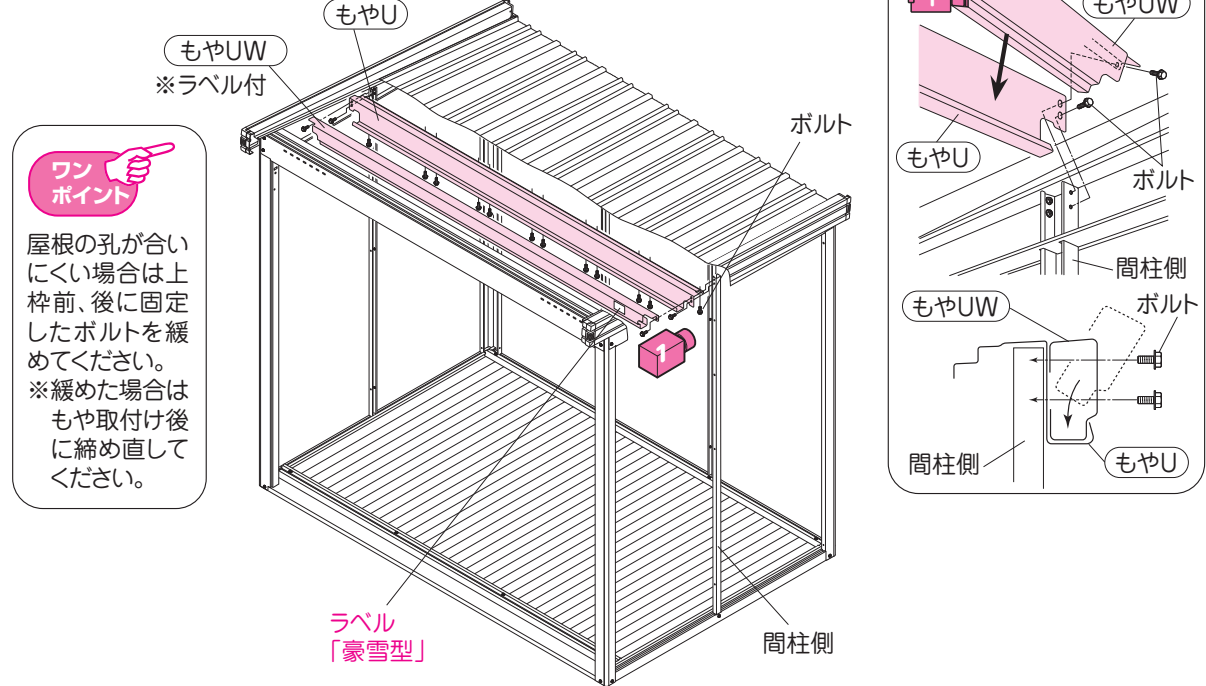
10-A もやの取付け ●一般型・積雪型の場合

- もや」を正面から間柱側に載せてボルト止めします。**1**
- もや」と屋根をボルト止めします。



10-B もやの取付け ●豪雪型の場合

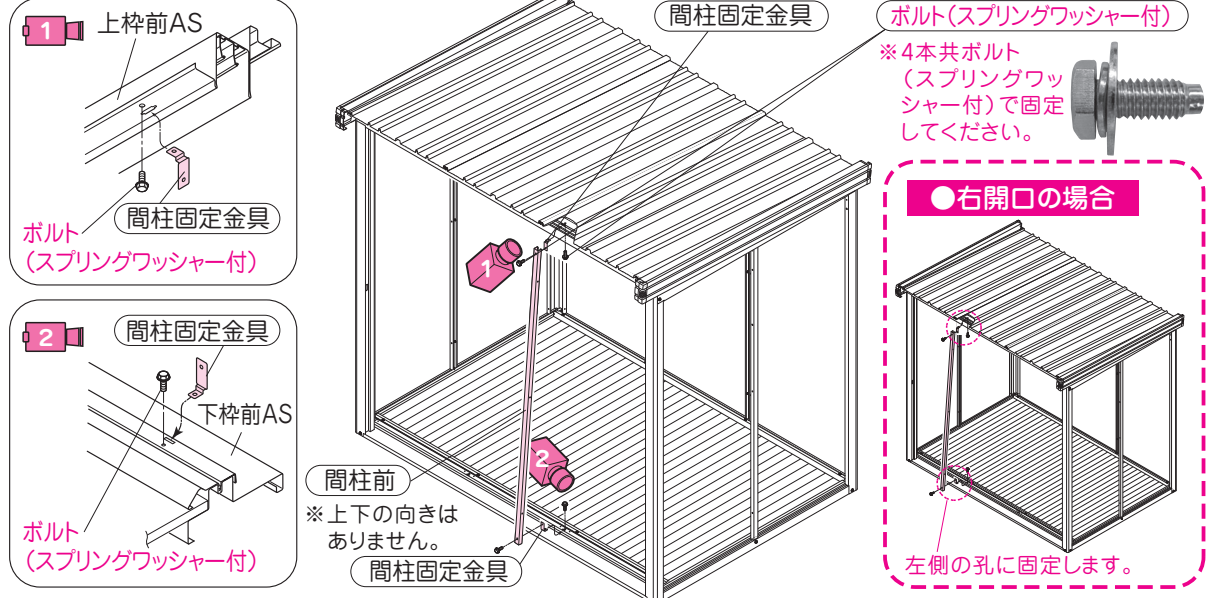
- もやU」を正面から間柱側に載せて下側の穴をボルト止めします。
- 正面から もやUW」を もやU」に落としこみボルト止めします。**1**
- もやU」と屋根をボルト止めします。



11 間柱前の取付け

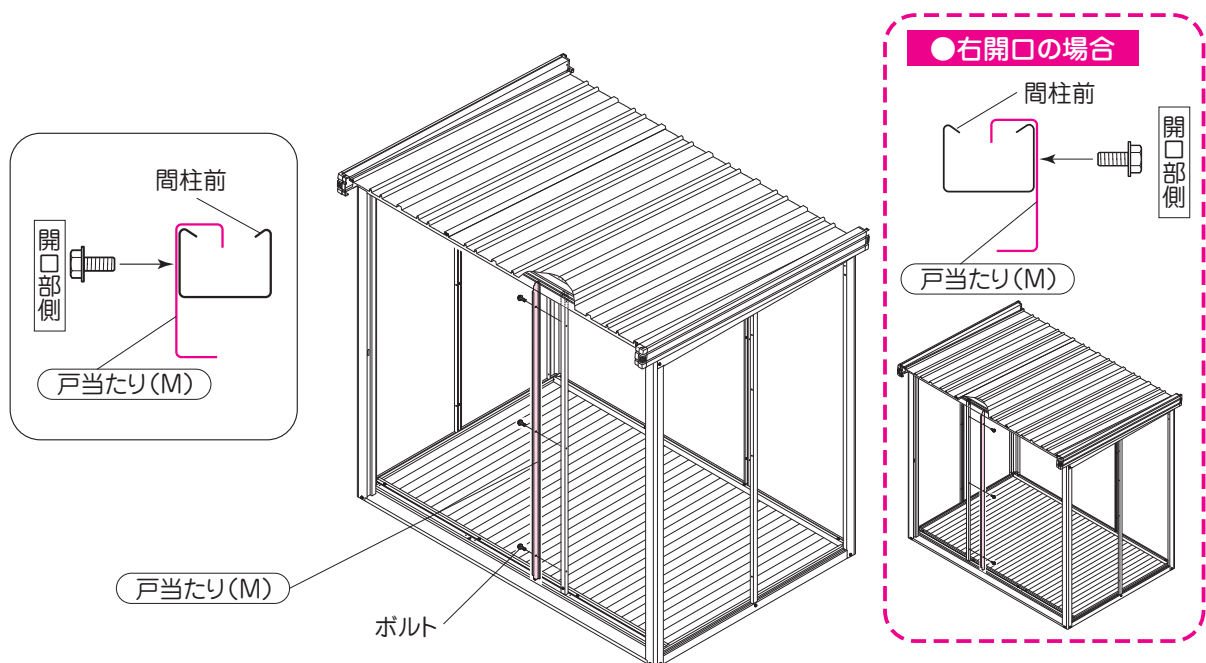
- 注意** 工場出荷時の扉の開口は、左側開口となっていますが、右側開口にも変更できます。それぞれの開口により、部品の取付け位置が異なりますので開口に応じて組立説明書11・12・14・16・17・19を読んでください。

- 間柱固定金具」を上枠前AS、下枠前ASそれぞれに差し込みボルト止めします。**1** **2**
- 間柱前」の上側を先に入れて次に下側を入れて両端をボルト止めします。



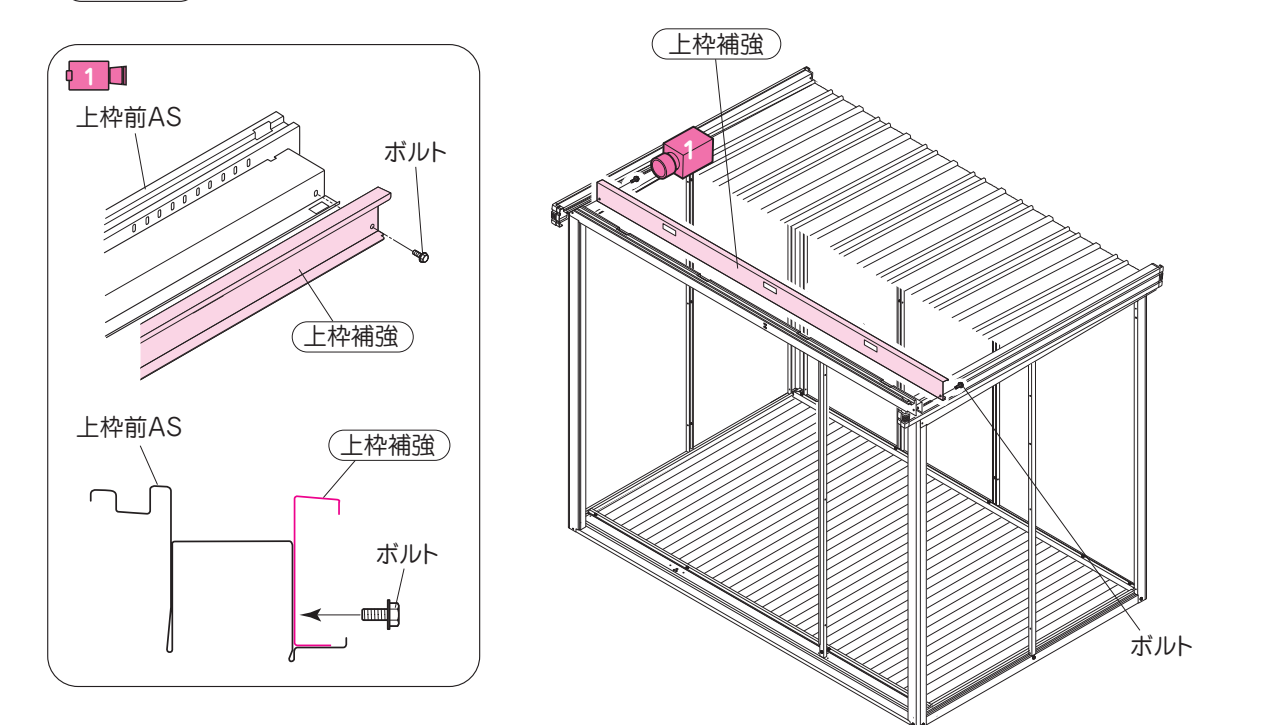
12 戸当たりの取付け

- 戸当たり (M)」を間柱前に仮止めします。
※扉吊り込み後に扉に干渉しないよう前後調整して固定してください。-工程17参照



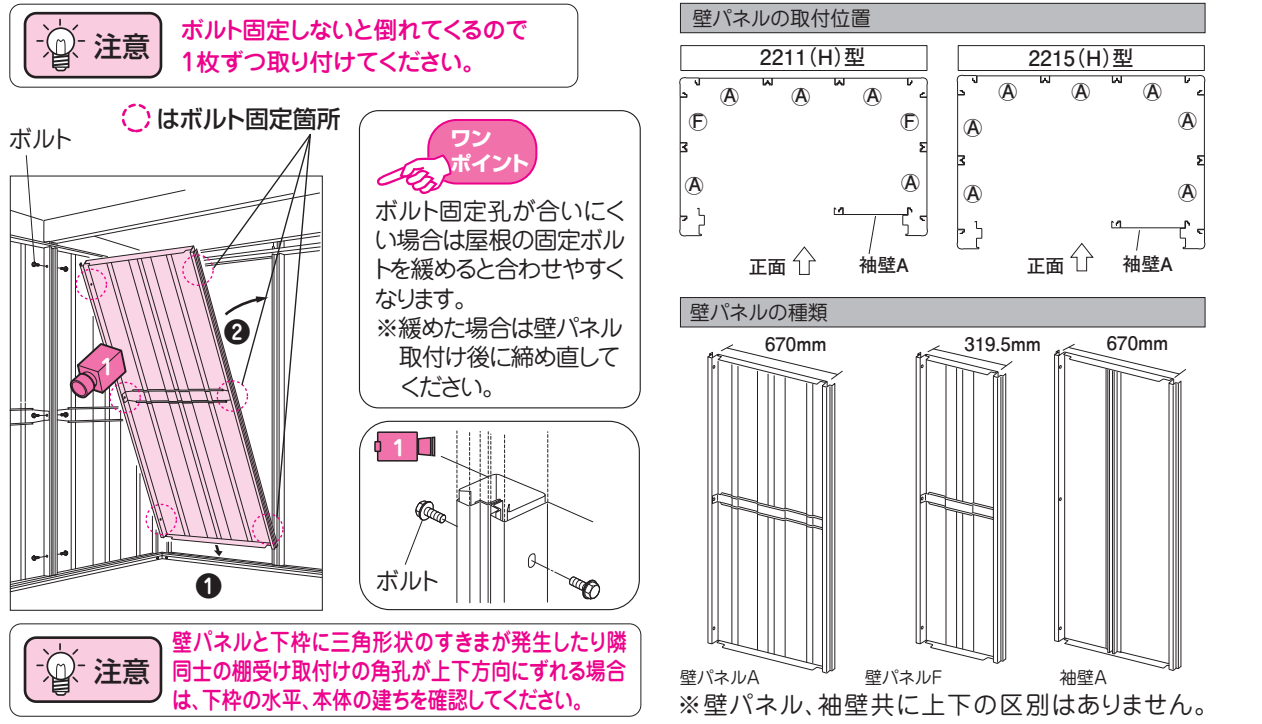
13 上枠補強の取付け (豪雪型のみ)

- 上枠前と柱を固定しているボルトを外します。
- 上枠補強」を上枠前ASにボルトで固定します。**1**



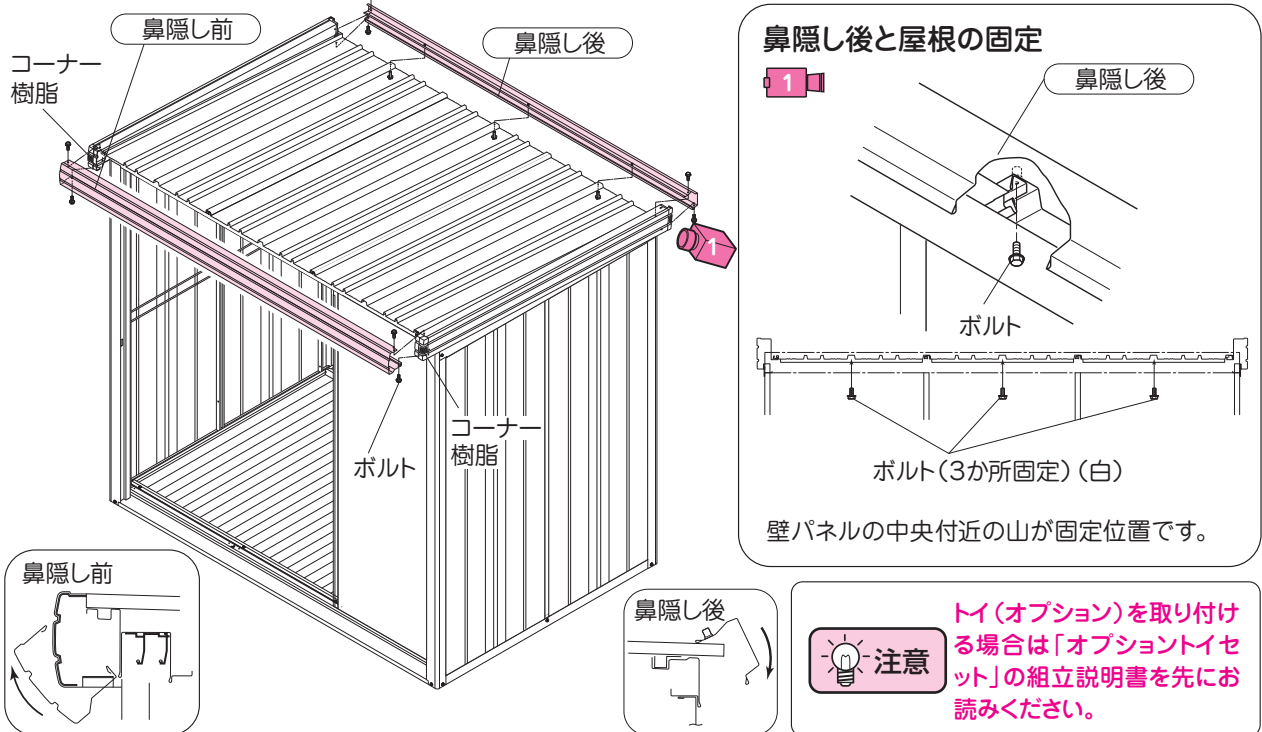
14 壁パネル・袖壁の取付け

- ※本体色と同じ色のボルトを使用します。
- 室内から (壁パネル)・(袖壁パネル)をはめ込みます。(下を先に入れて上をはめ込みます。)
 - 柱・間柱にボルト止めします。**1** (開口部側面の壁は柱補強金具と一緒に固定します。-工程22参照)



15 鼻隠しの取付け

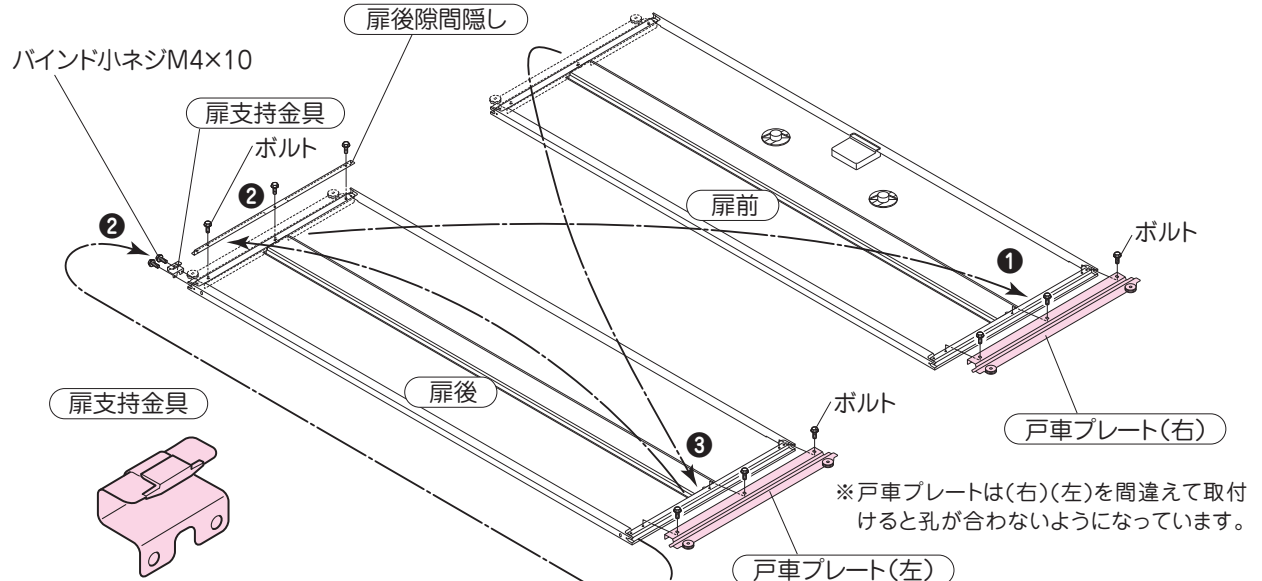
- 鼻隠し前」・(鼻隠し後)を上枠左右のコーナー樹脂にかぶせるようにして取付けてボルト止めします。
- 鼻隠し後」と屋根をボルト止めします。**1**



16 扉吊元変更 (右開口に変更する場合のみ)

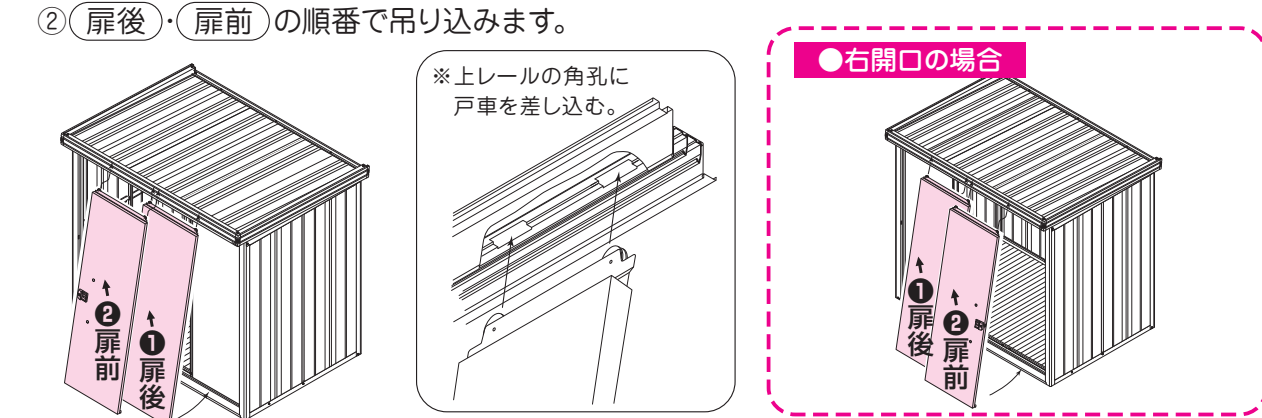
- 注意** 右開口にする場合のみ吊元変更を行ってください。左開口の場合はこの工程は必要ありません。

- 扉後から (戸車プレート(右))を取り外し扉前の戸車プレートが付いていない方に取付けます。
- 扉後の (扉後隙間隔し)・(扉支持金具)を取り外して扉後の反対側に取付けます。
- 扉前の最初に付いていた (戸車プレート(左))を取り外して扉後に取付けます。



17 扉の吊り込み

- 注意** 扉を吊り込み際は下枠前ASの上面に砂埃が無いことを確認してください。
- 扉支持材AS)を (扉前)に取り付けます。
扉支持材(AS)の取付け方をツメを扉の取手方向折曲げ部の中に差し込みます。
ツメを差し込む際、扉支持材を扉にかぶせる様に回転させます。

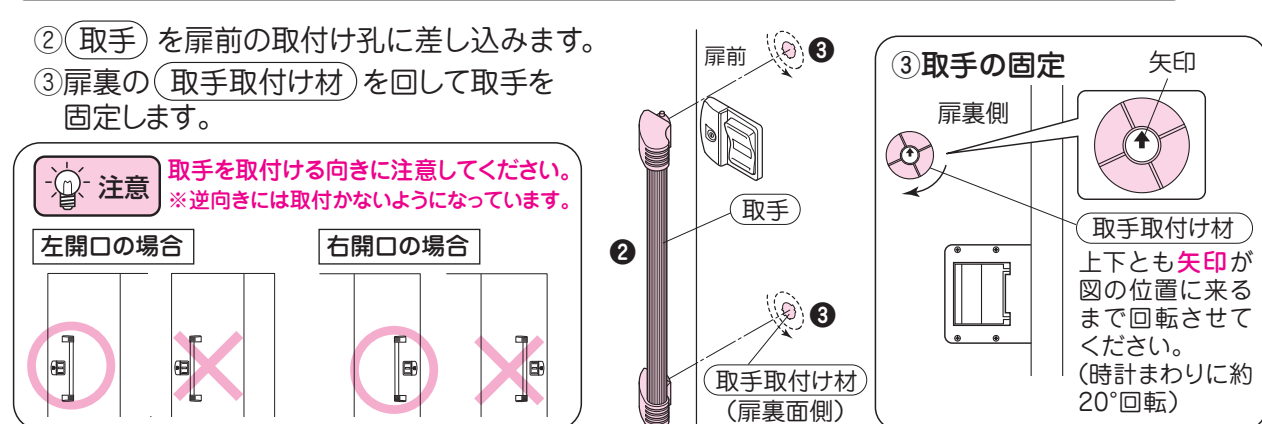


扉の吊り込み手順

- 扉後の戸車プレート」を角孔に差し込む。
 - アルミレールに載せ、ずらして下に落とす。
 - 下部を奥に押し当てる。
 - 扉後を持ち上げ戸車プレートをアルミレールに載せる。
 - 扉前も同様に吊り込む。
- 扉前が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを締め、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。
- 扉前が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを締め、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。
- 扉前が吊り込みにくい場合は、一度戸車プレートを締め、扉支持材のボルト(3か所)を緩めて吊り込んでください。吊り込み後、ボルトを締めます。

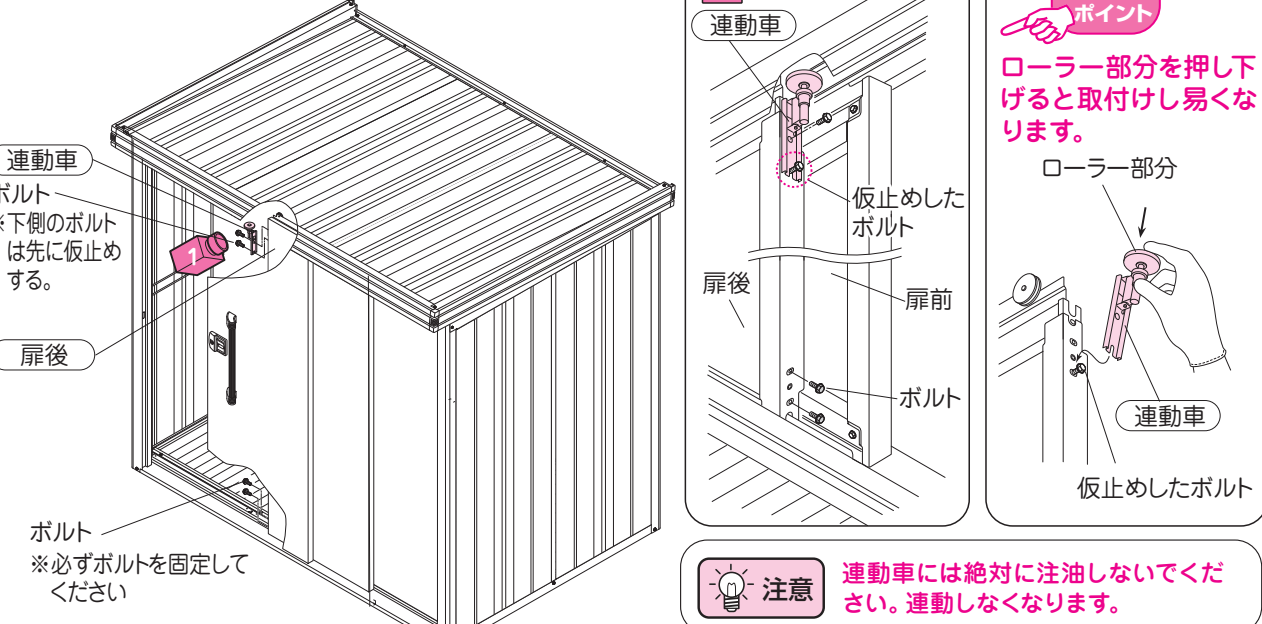
18 戸車上昇防止プレート・取っ手の取付け

- 戸車上昇防止プレートAS)を上枠前ASに取付けます。(3か所) **1**
- 注意** 戸車上昇防止プレートASは必ず取付けてください。扉を開閉した時に扉が外れる原因になります。また扉を閉せず時は必ず戸車上昇防止プレートASを外してください。



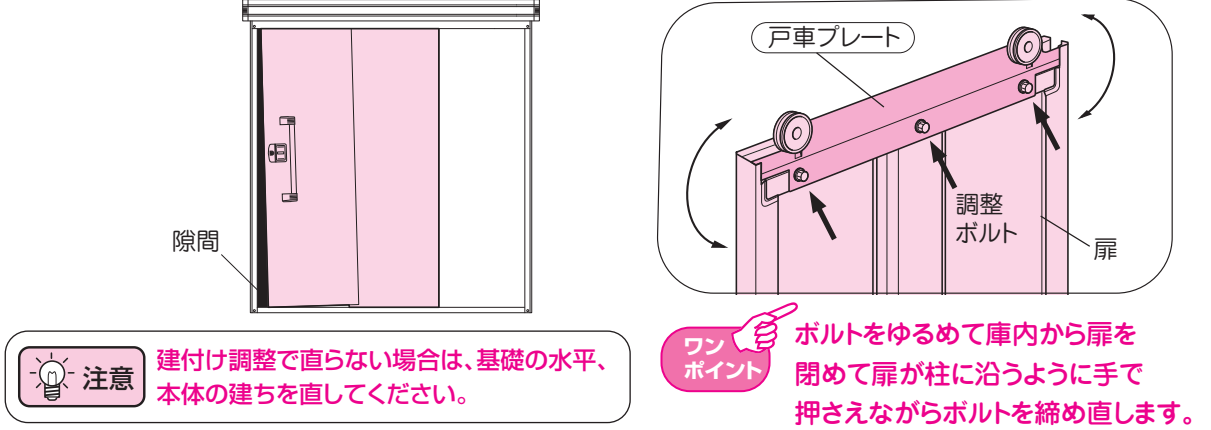
19 連動車の取付け

- 扉後の連動車取付け下側の固定孔にボルトを仮止めします。(ネジ部を5mm程度残してください)
- (連動車)のローラー部分を押し下げながら下部切欠きを仮止めたボルトに引っ掛けます。**1**
- (連動車)をボルトで固定します。(仮止めたボルトも締め込んでください。)
- 扉後下部のボルト孔を塞ぎます。



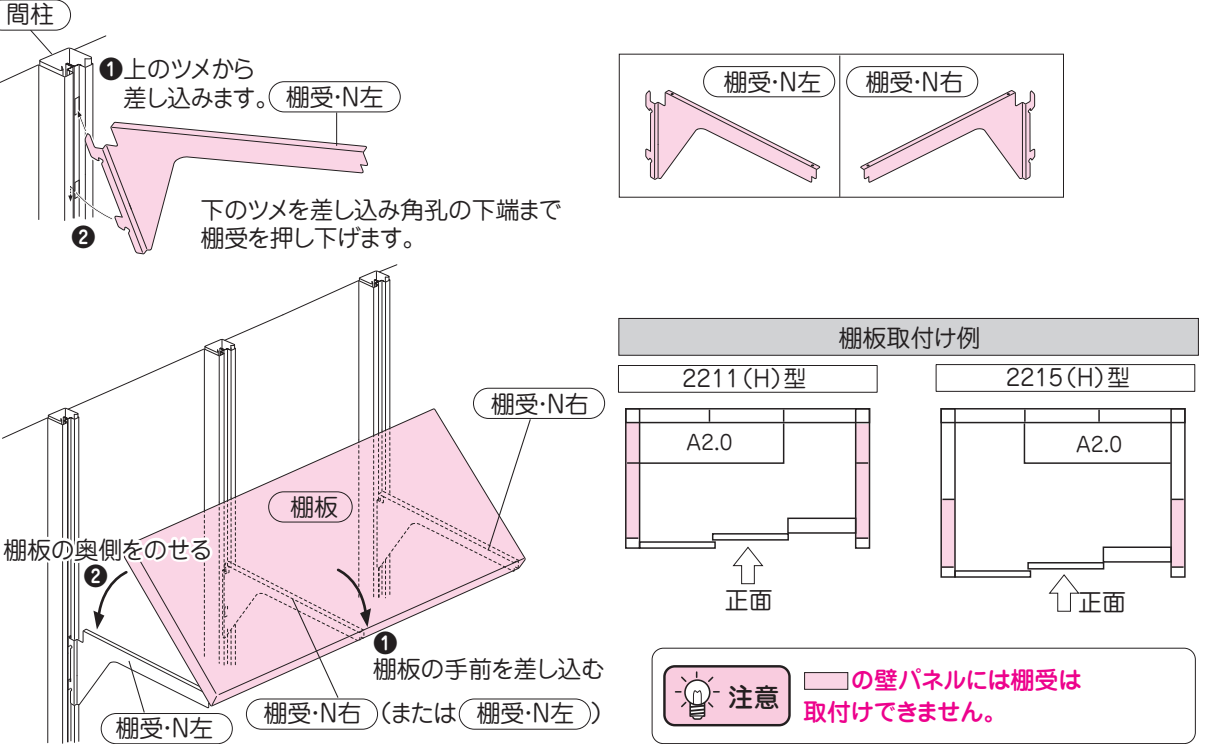
20 扉の建付け調整

- 扉を開めて柱と扉との隙間を確認します。
- 隙間がある場合や隙間が無くても鍵が掛かりにくい場合は、戸車を固定しているボルト(調整ボルト)をゆるめて調整します。



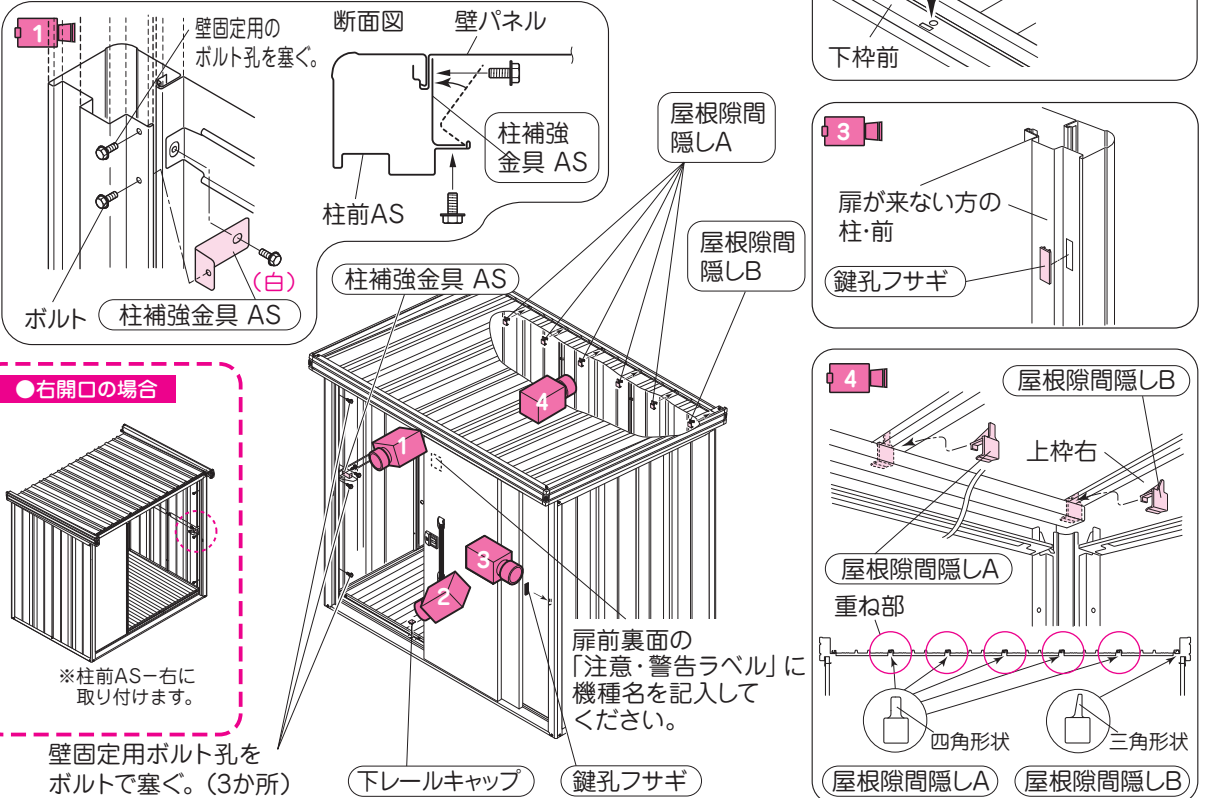
21 棚板の取付け

- 棚受」を図の様に壁パネルの角孔に差し込みます。
- 棚板」を棚受の先端に差し込んでから取付けます。(標準で棚板A2.0が2枚付いています。)



22 その他部品の取付け

- 柱補強金具AS)を柱前AS-左(右側開口の場合は柱前AS-右)にボルト止めします。**1**
- 壁固定用ボルト孔はボルトで塞ぎます。**1**
- 下レールキャップ」を下枠前に取付けます。**2**
- 鍵孔フサギ」を袖壁側の柱前に取付けます。**3**
- 屋根隙間隔しA)を上枠後の屋根の重ね部に、(屋根隙間隔しB)を上枠後の屋根と上枠右の重ね部に取付けます。**4**
- 扉裏面の注意・警告ラベルに「機種名」を記入します。



●錠操作方法について 取扱説明書「錠操作方法について」を必ずご参照ください。

組立てチェック

- 組立後に部品の付け忘れがないか、ご確認をお願いします。
- 扉の建て付け調整ができていないかご確認ください。
 - 鍵が正常に作動するかご確認ください。
 - 戸車上昇防止プレートASが取りついているかご確認ください。
 - 棚板の配置確認をしてください。
 - 機種名が記入されたが確認してください。(扉裏面の注意・警告ラベル)
 - ボルトの締め忘れやゆるみがないか確認してください。

こんな時は

- | | |
|----------------|---|
| ・扉が外れてしまった。 | 戸車上昇防止プレートAS、連動車を外して扉を吊り込みなおしてください。(工程17・18・19) |
| ・扉がスムーズに連動しない。 | 1.本体の建ちを確認してください。
2.連動車のローラー部に油が付着していないか確認してください。
3.連動車が真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。 |
| ・取手が外れる。 | 取手取付け材の取付け角度を確認してください。(工程18) |
| ・扉が最後まで閉まらない。 | 戸当たり (M)を調整してください。(工程17) |